

令和元年度  
グループホーム 亀天福寿苑  
事業報告書



(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活が送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上に向かい、内部・外部研修に積極的に参加します。

(重点目標)

- ① ご利用者、1人1人の尊厳を大切にし、その人らしく生き活きとした生活を送って頂けるよう支援しました。

日頃の会話からご利用者の特技や趣味を把握したり、ご家族からお話を伺い、支援を行いました。ご利用者と会話を行う際も、本人の得意としている事を中心にお話しを行ったり、昔、子供の頃遊んでいたレクリエーションや回想法を取り入れることで、日々、生き活きと過ごして頂けるように努めました。日頃の会話やご様子、ご家族との会話から、アセスメントを行い、介護支援計画を立て、支援を行いました。

レクリエーションでは、動くレクリエーションや壁画作りなどを提供し、静と動を交えながら機能維持に努めました。また、皆さまの輪に入る事が難しいご利用者には個別でレクリエーションを行いました。また、季節の行事では、お花見ドライブ・夏祭り・敬老会・おはぎ作り・もちつきを行い、毎月の行事にも力を入れました。

- ② ご利用者、1人1人の心身の状態観察・把握を行い、異常の早期発見に努め、元気で長期間、福寿苑で生活が送れるように努めました。

ご利用者の食事量・排泄・睡眠状態・日常の活動の様子や状態を記録や申し送りを行うこと異常の早期発見に努め、「いつも」との違いに気付けるようになりました。生活リハビリでは、ご利用者の身の回りの出来る事をして頂きました。見守る姿勢を大切にしました。計算やしりとり、回想法などで脳トレーニングを行いました。事故対策では、定期的に事故対策委員会を開催し、分析を行いました。

- ③ 1人でも多くの方に福寿苑の良さを知って頂けるように努めました。

施設で行う防災訓練では、ご家族と一緒に防災訓練を行いました。ご家族の中には地域の方もおられ、ご利用者の状態や防災訓練の様子を知って頂く事が出来ました。地域の防災訓練には参加できなかった為、今後、参加でき

るようにします。

運営推進会議や趣味の会では、ご家族の方から地域の方へ声をかけて頂きました。輪を広げていきたいと思えます。内容では、世間での話題を取り入れ、防災食を行ったり、マスク作りの紹介を行いました。地域行事では、民生委員から地域の運動会の招待券を頂き、見学に行きました。波止浜文化祭は、新型コロナウイルス拡大防止の為、文化祭自体が中止となりましたが、今後も地域の方と一緒に過ごす時間が出来るように努めて参ります。

④ 地域医療との連携がより密に出来るように努めました。

居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り合い、情報共有を行いました。申し込みの希望がある方に関しては、施設見学を勧め、苑の様子をお伝えしました。また、申し込みのご家族だけでなく、ご本人にも来て頂くようにしました。365日の申し込み・見学が出来る体制を取り、気軽に来られる雰囲気作りを行いました。

ご家族と一緒に受診に行かれる際は、暮らしの状況表や病状経過報告書を作成し、医療関係者と情報共有に努めました。また、入院中のご利用者にも、ご家族が安心できるよう医療と連携を図り、サポートしました。

今後も、居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り、情報共有に努め、多くの相談が受けられるようにします。

⑤ 必要な知識・技術を身につけ、職員の質向上を目指しました。新人職員に指導出来る職員を増やせるように努めました。

内部研修では、職員の興味や関心のあるテーマを選びました。外部研修も、多くの職員が参加できるように、違う職員が参加するようにしました。また、外部研修で学んだ事を、一人で知識を深めるだけでなく、全体に発表することで、職員全体のスキルアップへ繋がるように心がけました。理念・基本方針の振り返りが不十分であった為、今後は、継続して行えるように努力してまいります。新人職員への指導では、相手に伝わる大切さを伝えながら、指導を行いました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の状態に合わせ、普通食からトロミ剤使用・ミキサー食・お粥・食器の対応等、安心してお食事がとれるようにしています。「温かいものは温かく」を大切にしてお食事提供しています。中庭で採れた野菜を活用したり、ご利用者と一緒に漬けた梅干し等を一緒に提供し、会話を楽しみながらお食事をして頂きました。必要以上の食事介助は控え、ゆっくりと食事が出来る雰囲気作りを心がけています。

● 入浴

1人ずつゆっくりとした入浴を行っております。ご利用者の希望を聞きながら、熱め・温めを把握し、気持ちよく入浴して頂けるように配慮して

います。入浴前には、バイタルの確認を行い、異常時は看護師へ報告し、安全に入浴が出来るよう配慮をしています。入浴時には、職員とご利用者が会話をを行う事で日頃フロアではお話しされない事もお話しして下さいます。また、ご利用者の身体状態に応じて、普通浴・特殊浴、シャワーチェアの使用・清拭の実施をしています。脱衣場・浴室の温度やプライバシーに気をつけて介助を行っています。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常があればすぐに看護師に連絡をとり対応を行っています。

- 排泄の介助

排泄チェック表に基づき、トイレへの声掛けや誘導を行う事でトイレでの排泄をして頂くように取り組んでいます。声掛け時、拒否がある方は、時間をおき対応をしています。プライバシーにも配慮を行いながら対応しています。汚染があった場合は、状況に応じて清拭やシャワー浴、入浴を行っています。排便コントロールも排泄チェック表に基づき、看護師と連携をとり下剤の服用や水分摂取、体を動かす等で調整を行っています。環境面についても、壁・便座・床等の掃除を毎日行い、汚染時にはその都度掃除を行い、清潔が保てるように行っています。

- 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量、体調の変化の有無などを把握し、異常の早期発見に努めました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、看護師の指示のもと、再検、必要時には早期受診による体調悪化予防や治療できるように行いました。また、医療機関と連携し、職員・ご利用者共に定期的な健康診断や予防接種を受けました。季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気、水分補給を行い健康管理に気をつけました。

- 機能訓練

レクリエーションとして、午前中には体を動かすレクリエーションを取り入れました。毎日のラジオ体操を行い、体操後には風船バレーや玉入れやボールを使ったゲームなど楽しみながら体力作りに取り組むことが出来ました。午後からは、トランプやことわざクイズなど脳トレーニングを行ったり、指先を動かすように創作活動として季節の壁画作りや行事で使う創作物の作成に取り組みました。また、ご利用者に合わせて、個別でレクリエーションを取り入れています。日々の生活の中で、台拭き、洗濯物畳みや洗濯物干し、ご自分で洗濯物を居室へ持って帰って頂く等自然に身体を動かして頂いています。また、手を出しすぎない介護を行う事で残存機能を使って頂いています。自由に動いて頂くようにしています。

- 行事

ご利用者には四季を感じて頂けるように、季節に合わせた行事を行いました。夏祭り、敬老会、文化祭ご家族や地域のがと一緒に楽しんで頂ける

行事も行いました。大勢が参加される事でより賑やかな行事になりました。文化祭では、ミャンマーから来た実習生に母国を紹介してもらったり、ミャンマー語講座を開催しました。興味を持たれる方が多くいらっしゃいました。餅つき大会やおはぎ作りを行いご利用者から教えていただく行事も取り入れました。各ユニットでは、お誕生日会やおやつ作り、ネームプレート作りを行いました。気候が良い日は戸外食も行っています。お誕生日会では、ご家族に協力してもらい、誕生日プレゼントを用意して頂いています。ご家族からのプレゼントにご利用者も感激されています。プレゼントを渡す際は、ご利用者から渡して頂くことで、お話しも弾み、皆でお祝い出来る雰囲気を作っています。ご利用者の笑顔が多く見られ、季節を感じて頂く事のできる行事を今後も取り入れていきます。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

毎月趣味の会では、おやつ作り、ハーバリウム作り、ドライブ、文化祭を行いました。文化祭では、ご家族や地区の方も参加されています。おやつ作りでは、パウンドケーキを作り、分量を量られたり、混ぜられたりと作業をされながら会話が弾んでいました。今年は、民生委員の方が招待して下さいった地域の運動会を見学しました。ご利用者も一生懸命応援されていました。フラダンスのボランティアの方も来て頂き、一緒に手の動きを真似られ、楽しまれていました。今後も地域交流が行えるように努めて参ります。

- 防災・防火対策

年に2回、4月と10月に苑内での防災訓練を実施しています。南海地震を想定したり、立地場所から土砂災害への対応の訓練も行いました。今年は、ご家族も一緒に行いました。防火訓練時には、夜間帯と日勤帯の訓練を行っています。また、水消火器を使用しての消火訓練や防災設備の講習を行っています。防災の知識を高めるために防災に関しての勉強会を行っています。高部地区における防災会議にも出席させて頂いています。今後も南海地震を視野に入れ、地域の方連携できるよう、より力を入れて取り組みたいと思います。

- 職員研修

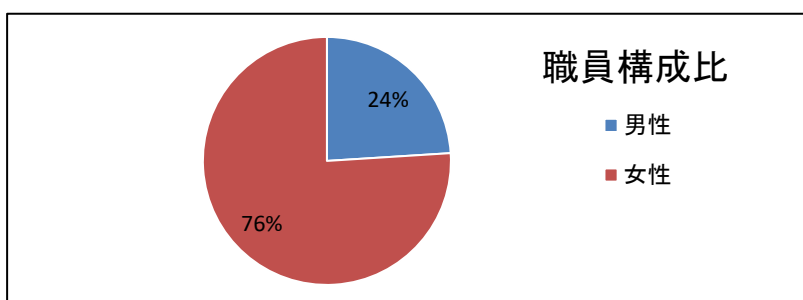
外部研修、内部研修の参加により、知識・技術の習得に努めました。年間スケジュールに沿って毎月内部研修を行いました。講師にあたる職員が勉強を行い、発表を行いました。内部研修では、職員の意見を取り入れ、興味・関心のある内容を含むようにしました。外部研修では、2か月に1回開催される今治市グループホーム交流会に積極的に参加しました。今後も知識・技術の習得を行い、ご利用者により良い支援を行うよう努めていきます。

## 1. 事業所

### ① 概要

|       |                  |    |    |
|-------|------------------|----|----|
| 事業所名  | グループホーム 亀天福寿苑    |    |    |
| 事業所種別 | 認知症対応型共同生活介護事業所  |    |    |
| 事業所住所 | 今治市高部字碁石山甲661番地1 |    |    |
| 管理者職名 | 管理者 藤原 裕子        |    |    |
| 職員数   | 男性               | 女性 | 総数 |
|       | 6                | 19 | 25 |

(令和2年3月31日現在)



### ②職員紹介

亀天福寿苑は、管理職・看護師・計画作成担当者・介護員にて形成されております。

管理職1名、計画作成担当者3名、看護師3名、介護員18名でご利用者27名の支援を行っています。

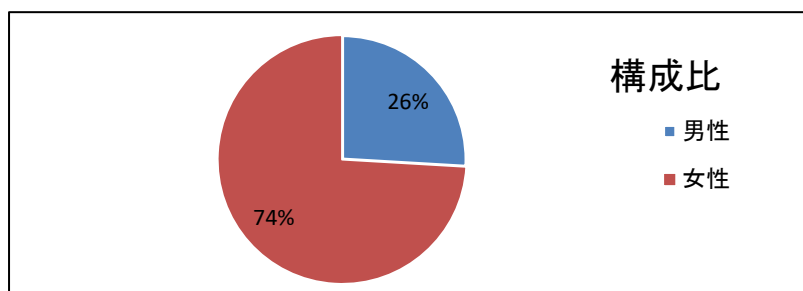
介護員18名のうち、介護福祉士4名 初任者研修修了者4名 実務者研修修了1名がご利用者の支援を行っております。管理職、計画作成担当者、看護師にも、社会福祉士・介護福祉士の資格の取得者や認知症リーダー研修修了者など、認知症対応共同生活介護には欠かせない専門知識を有した職員が所属しております。また、手作りお菓子や作品制作、昔話を得意とする職員が揃っています。

今年度は、ミャンマーから技能実習生が福寿苑に来て実習をしております。明るく、真面目に仕事と向き合っています。高齢者を敬う気持ちを大切にしています。

亀天福寿苑が運営理念として掲げている「一緒に共に」を大切に、私たちは支援します。」を大切にし職員一同、支援を行っています。

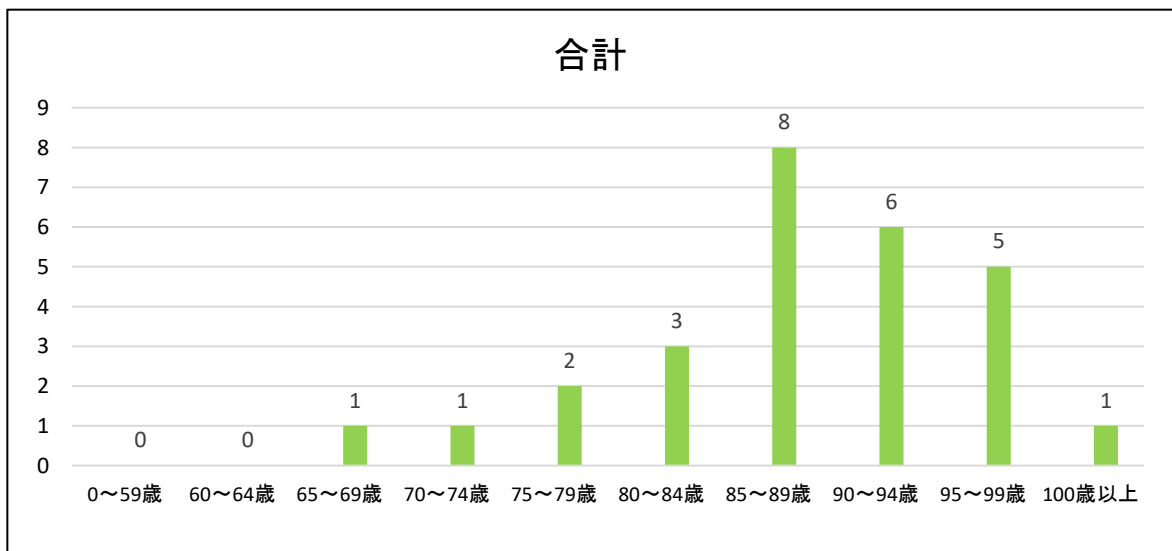
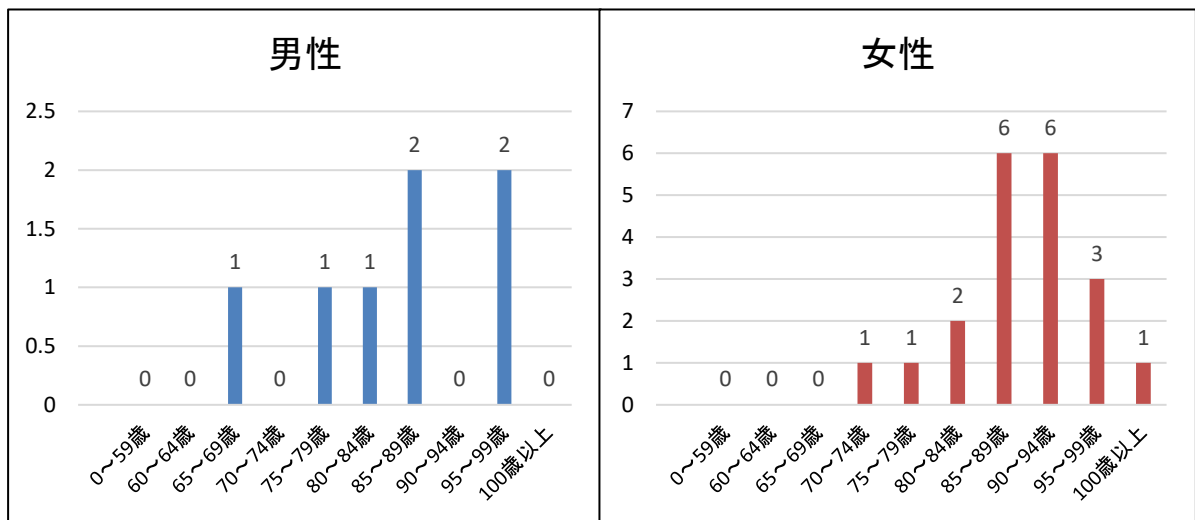
## 2. 定員及び現在人員(令和2年3月31日現在)

| 定員 | 現在人員 | 性別 |    |
|----|------|----|----|
|    |      | 男性 | 女性 |
| 27 | 27   | 7  | 20 |



## 2. 年齢別人員

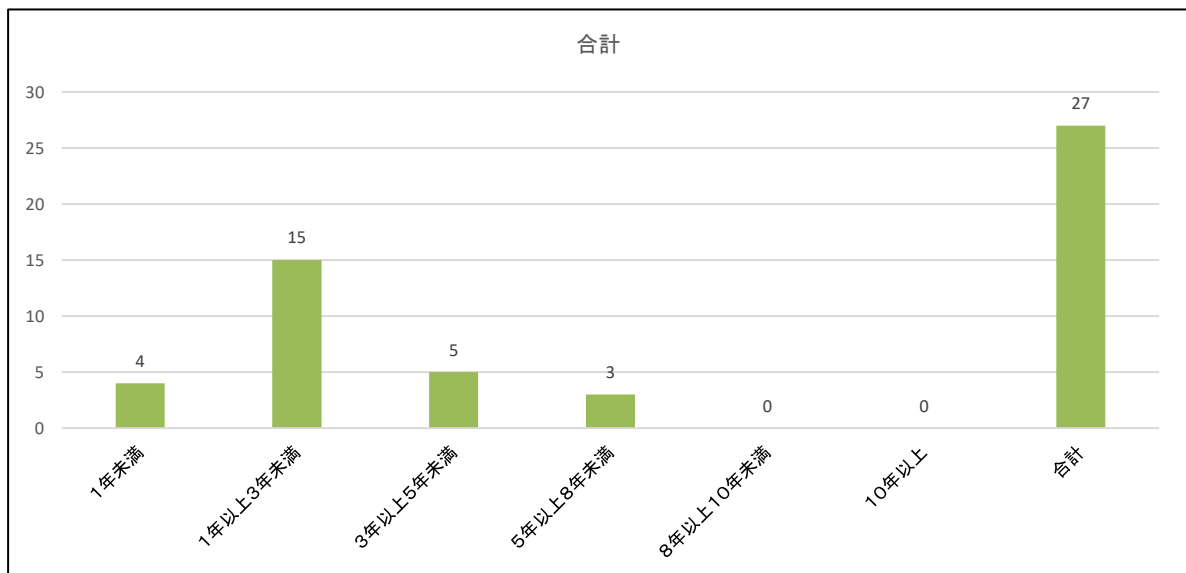
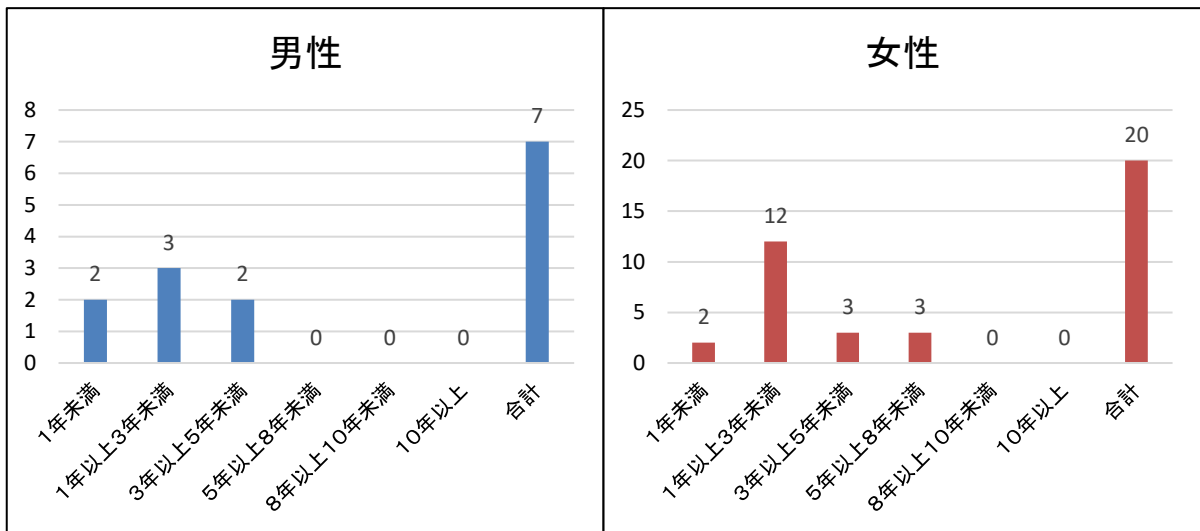
|        | 男性   | 女性   | 合計人数と構成比 |        |
|--------|------|------|----------|--------|
|        |      |      | 人数(名)    | 構成比(%) |
| 0～59歳  | 0    | 0    | 0        | 0      |
| 60～64歳 | 0    | 0    | 0        | 0      |
| 65～69歳 | 1    | 0    | 1        | 4      |
| 70～74歳 | 0    | 1    | 1        | 4      |
| 75～79歳 | 1    | 1    | 2        | 7      |
| 80～84歳 | 1    | 2    | 3        | 11     |
| 85～89歳 | 2    | 6    | 8        | 29     |
| 90～94歳 | 0    | 6    | 6        | 22     |
| 95～99歳 | 2    | 3    | 5        | 19     |
| 100歳以上 | 0    | 1    | 1        | 4      |
| 合計     | 7    | 20   | 27       | 100    |
|        | 最高年齢 | 最低年齢 | 平均年齢     | 男女平均年齢 |
| 男性     | 99   | 68   | 85.7     |        |
| 女性     | 102  | 74   | 92.5     |        |





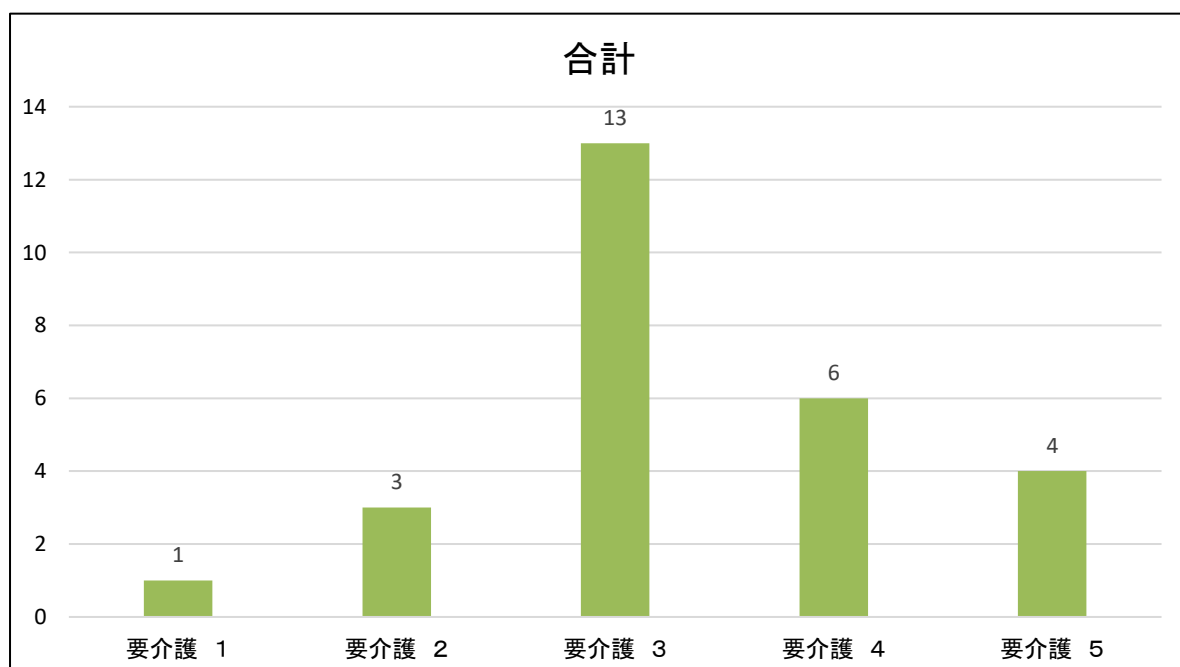
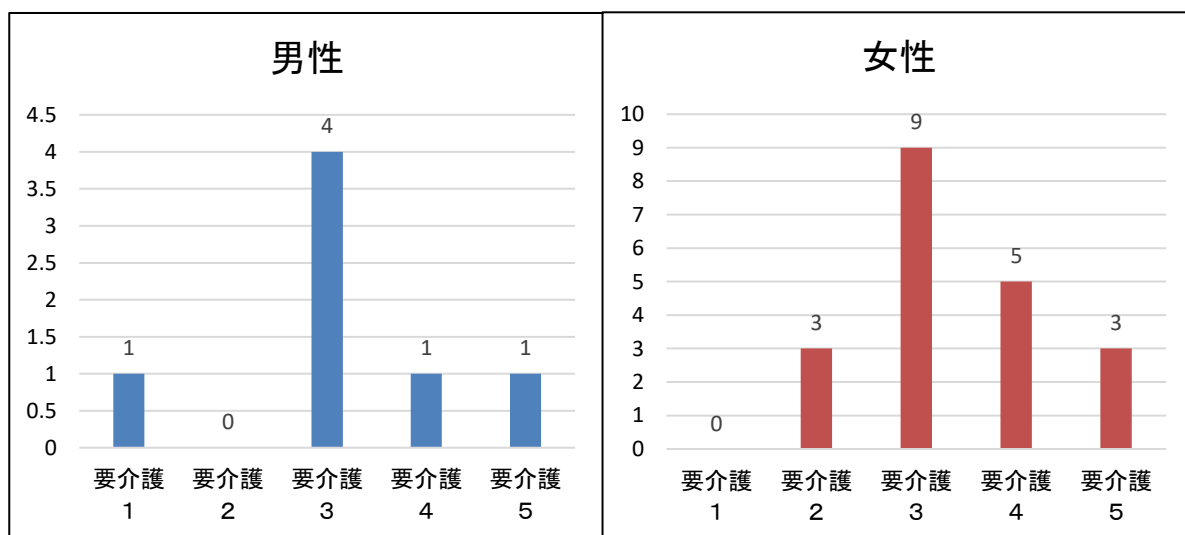
### 3. 入居期間別人員

|           | 男性(名)  | 女性(名)  | 合計(名) | 構成比(%) |
|-----------|--------|--------|-------|--------|
| 1年未満      | 2      | 2      | 4     | 14     |
| 1年以上3年未満  | 3      | 12     | 15    | 56     |
| 3年以上5年未満  | 2      | 3      | 5     | 19     |
| 5年以上8年未満  | 0      | 3      | 3     | 11     |
| 8年以上10年未満 | 0      | 0      | 0     | 0      |
| 10年以上     | 0      | 0      | 0     | 0      |
| 合計        | 7      | 20     | 27    | 100    |
| 平均入居期間    | 2年10か月 | 2年11か月 | 2年8か月 |        |



#### 4. 平均介護度別人員

|       | 男性(名) | 女性(名) | 合計    |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
|       |       |       | 人数(名) | 構成比(%) |
| 要介護 1 | 1     | 0     | 1     | 4      |
| 要介護 2 | 0     | 3     | 3     | 11     |
| 要介護 3 | 4     | 9     | 13    | 48     |
| 要介護 4 | 1     | 5     | 6     | 22     |
| 要介護 5 | 1     | 3     | 4     | 15     |
| 合計    | 7     | 20    | 27    | 100    |
| 平均介護度 | 2     | 3.3   | 3.2   |        |



5. 面会状況(平成31年4月1日～ 令和2年3月31日迄の1年間)

|           |        |
|-----------|--------|
| 総数        | 808人   |
| 1か月平均     | 67.3人  |
| 最高(1人あたり) | 122回   |
| 最低(1人あたり) | 4回     |
| 年間1人平均    | 29.88人 |
| 1か月1人平均   | 2.49人  |

6. 研修実施状況

**【内部研修】**

| 実施月 | 研修内容   | 研修講師    | 出席者数 |
|-----|--|---------|------|
| 4月  | 電話対応の大切さを理解し、きちんとした電話対応ができる                            | 介護職員    | 13名  |
| 5月  | 利用者1人1人に合った対応を考え、実践する                                  | 介護職員    | 11名  |
| 6月  | ご利用者、職員の手洗い、手指消毒を徹底し、台所の清潔保持に努める                       | 看護職員    | 13名  |
| 7月  | 身体拘束と虐待は、何故起こるのかを考える、認知症の方のBPSDへの対応を考え、実践する            | 管理者     | 13名  |
| 8月  | ケアプランと記録の連動について行った支援内容を細かく記録する                         | 計画作成担当者 | 12名  |
| 9月  | リスクマネジメントについて理解し、事故を未然に防ぐように、ヒヤリハットを多く出す               | 介護職員    | 13名  |
| 10月 | 災害時の対応を理解し、必要時適切な対応ができる                                | 計画作成担当者 | 13名  |
| 11月 | 口腔ケアの重要性を理解し、利用者の口腔内を清潔に保つことができる                       | 介護職員    | 14名  |
| 12月 | マスク着用、キーパープロによる消毒を行うことで、予防対応ができる                       | 看護職員    | 16名  |
| 1月  | 高齢者の身体機能を実感し、機能維持が出来るような対応を行う                          | 介護職員    | 14名  |
| 2月  | 認知症からくる行動がある事を理解し、対応方法をチームで考え、チームケアを行いながら、ゆとりを持った支援を行う | 介護職員    | 14名  |
| 3月  | 夜間救急対応を把握する。日頃の利用者の様子やバイタル測定値を把握し、早めの異変に気付けるようにする      | 看護職員    | 17名  |

## 【外部研修】

| 実施月 | 研修種類  | 研修内容                      | 出席者職種                       |
|-----|-------|---------------------------|-----------------------------|
| 4月  | 講義    | モチベーションアアップと人材育成          | 看護職員                        |
| 8月  | 講義    | 介護職員等特定処遇改善加算説明会          | 管理者                         |
| 9月  | 講義    | 福祉避難所指定に係る説明会             | 管理者                         |
| 10月 | 講義    | 虐待防止、身体拘束適正化について          | 計画作成担当者                     |
| 11月 | 講義    | 社会福祉施設等における防犯にかかる安全確保について | 管理者・介護職員<br>計画作成担当者<br>看護職員 |
| 12月 | 講義    | 認知症のある人の心と行動の仕組みについて      | 介護職員                        |
| 2月  | 講義    | 社会福祉法人経営分析について            | 管理者                         |
| 2月  | 講義    | 口腔ケアの重要性について              | 看護職員                        |
| 2月  | 講義・実技 | 救命救急について                  | 介護職員                        |

## 7. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

### 【行事・クラブ活動】

| 実施月 | 指導援助者 | 内容             | 参加者数       |
|-----|-------|----------------|------------|
| 4月  | 介護職員  | クラレ西条ドライブ(お花見) | 6名         |
| 4月  | 介護職員  | お花見ドライブ(頓田川)   | 14名        |
| 5月  | 介護職員  | 春祭り見学          | 3名         |
| 5月  | 介護職員  | 戸外食            | 27名(各ユニット) |
| 6月  | 介護職員  | カラオケ大会         | 27名        |
| 6月  | 介護職員  | ホットケーキパーティー    | 26名        |
| 7月  | 介護職員  | 七夕集会           | 26名(各ユニット) |
| 7月  | 介護職員  | かき氷づくり         | 25名(各ユニット) |

|     |      |           |            |
|-----|------|-----------|------------|
| 8月  | 介護職員 | 花火大会      | 26名        |
| 8月  | 介護職員 | 夏祭り       | 66名        |
| 8月  | 介護職員 | 梅酒ゼリー作り   | 27名(各ユニット) |
| 9月  | 介護職員 | 敬老会       | 58名        |
| 9月  | 介護職員 | お彼岸 おはぎ作り | 27名(各ユニット) |
| 10月 | 介護職員 | 運動会       | 27名        |
| 11月 | 介護職員 | 紅葉ドライブ    | 7名         |
| 11月 | 介護職員 | 文化祭       | 42名        |
| 12月 | 介護職員 | クリスマス会    | 26名(各ユニット) |
| 12月 | 介護職員 | おもち作り     | 20名        |
| 1月  | 介護職員 | 鏡開き       | 26名(各ユニット) |
| 1月  | 介護職員 | 初詣        | 6名         |
| 2月  | 介護職員 | 節分        | 27名(各ユニット) |
| 2月  | 介護職員 | バレンタイン    | 27名(各ユニット) |
| 3月  | 介護職員 | ひな祭り      | 26名(各ユニット) |
| 3月  | 介護職員 | おはぎ作り     | 26名(各ユニット) |



## 【地域交流・ボランティア受入れ状況】

| 実施月 | 団体名             | 内容        | 参加者数        |
|-----|-----------------|-----------|-------------|
| 4月  | 関消防             | 消防訓練      | 39名(利用者27名) |
| 5月  | アロハしまなみ         | フラダンス教室   | 36名(利用者27名) |
| 6月  | 介護職員・看護職員       | パウンドケーキ作り | 12名         |
| 7月  | 介護職員・看護職員       | ハーバリウム作り  | 9名          |
| 8月  | 介護職員<br>計画作成担当者 | 夏祭り       | 66名(利用者27名) |
| 9月  | 介護職員・看護職員       | 敬老会       | 58名(利用者27名) |
| 10月 | 看護職員・管理者        | 波止浜運動会見学  | 4名          |
| 10月 | 介護職員<br>計画作成担当者 | 防災食       | 9名          |
| 11月 | 介護職員            | 文化祭       | 42名(利用者27名) |

## 8. 苦情状況

### 【苦情状況】

| 日付    | 法人との関係 | 内容   |
|-------|--------|------|
| 令和元年度 |        | 特になし |

